

ELC3312QDP-DL (調光, 屋内用, 定電流形)

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

13年06月11

お買い上げありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら直流電源装置をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

DNライティング株式会社

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460
名古屋営業所 : 052-322-2861

札幌営業所 : 011-824-5051
大阪営業所 : 06-6338-1081

仙台営業所 : 022-283-3401
福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意



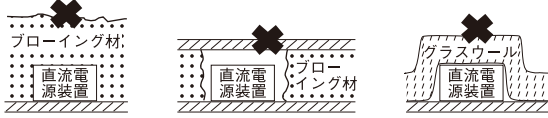
警告



●直流電源装置の構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、漏電、感電、火災の原因となります。



●断熱材や防音材、紙、布などを、直流電源装置の上に置いたり、かぶせたりしないでください。直流電源装置の温度が高くなり、保護機能が動作したり、紙や布が焦げて火災の原因となります。
●電線あるいは絶縁処理部に刃物などによる傷をつけないでください。傷がついた状態で使用すると、絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。
●住宅の断熱施工天井には使用しないでください。過熱による火災の原因となります。



●壁付けや天井付けはしないでください。火災・感電の原因となります。
●万が一煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。
●直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、可燃性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。



●活線作業をしないでください。活線作業をすると感電の原因となります。



●電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。なお、連結端子を有する直流電源装置の接続をする場合、次のことを守ってください。
1. 電線は指定の電線を使用してください。
2. 電線の被覆は、指定されたむき代に合わせてむいてください。
3. 電線を1本ずつ奥まで確実に差し込んでください。
●振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やねじのゆるみによる落下を防止する対策を施してください。対策を施さないと使用すると、落下によるケガの原因となります。
●直流電源装置は必ず適合したLED器具と組み合わせて使用してください。
1. 同じワット数のLED器具でも、種類が異なるとLED器具の破損や、短寿命、あるいは過電流による火災および直流電源装置の短寿命の原因となります。
2. 直流電源装置には指定した接続台数を超えるLED器具は接続しないでください。過電流による火災および直流電源装置の短寿命の原因となります。



注意

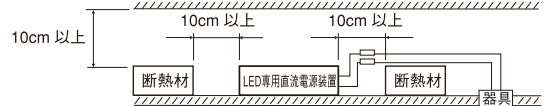
●誤って落下させた直流電源装置は使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく発煙、発火などの原因となることがあります。
●直流電源装置を可燃性造営材に取り付ける場合には、造営材から10mm以上はなして取付けてください。密着した状態で長期使用すると、取り付け面の変色、焦げ、さらに進むと発煙、発火の原因となることがあります。
●直流電源装置を隠ぺい場所（天井裏など）に取り付ける場合は、火災の危険性を防止し、定期点検、異常などの処置を行うためさらに耐火性の箱に収めるとともに、容易に点検できるように施設してください。
●その他、工事上の制約がありますので、直流電源装置の取付に際しては「電気設備技術基準」にしたがってください。
●電線を直流電源装置ケースのエッジに触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電などの原因となることがあります。
●電線の接続点や直流電源装置の口出し線には張力を加えないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
●口出し線を持って直流電源装置を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良により不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。

●取付後、絶縁抵抗を測定してください。絶縁抵抗が、規定値より低い場合は、漏電、感電、火災の原因となることがありますので、絶縁を修復させた後通電してください。
●長期間使用しない場合は、部屋の湿気により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。絶縁が悪くなりますと漏電、感電の原因となることがあります。
●電源電圧は±6%の変動範囲で使用してください。この範囲外で使用すると、適合LED器具・直流電源装置の寿命が短くなります。また、LED器具の明るさがかなり低下するとともに、LED器具のチラツキ、不点灯の原因となることがあります。LED器具の性能を生かすために、定格電圧で使用してください。
●引火する危険性の零空間（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカーなど）では使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
●粉塵の多いところでは、使用しないでください。発煙・発火の原因となることがあります。
●酸などの腐食性零空間のところでは使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。

ご使用上の注意

●周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合などには、直流電源装置が短寿命となったり、保護機能が動作したりするので、直流電源装置の周囲温度は35℃以下で使用してください。また、次の事項を守ってください。
1. 直流電源装置を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けるので50mm以上間隔を空けて通風に注意してください。
2. 直流電源装置を箱の中に収納する場合には、容積を十分大きくとり、かつ換気をして直流電源装置が過熱しないように注意してください。
3. 直流電源装置を光源の上部などに取り付ける場合には、光源の熱影響を受けるので熱遮蔽の仕切りをするとともに十分な間隔をとってください。
4. 狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などを行って、直流電源装置が過熱しないように注意してください。
5. 周囲温度が低い場合、正常動作をしない場合がありますのでご注意ください。
●直流電源装置とLED器具との間の配線の長さは、次の基準を守ってください。直流電源装置は、配線間の容量による直流電源装置への影響を考慮し、総配線長10m以内にしてください。この長さを超える特性（出力、雑音、漏れ電流）が変化したり、異常過熱が生じます。
●直流電源装置に通電した状態で接続コネクタを脱着しないでください。LED器具故障の原因となります。
●直流電源装置の取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。有資格者以外の工事は、法で禁じられています。

●施工方法、使用方法によっては、電波障害（コンピュータのエラー、医療用機器への影響、ラジオ・テレビのノイズなど）が生じることがあるので次のことを守ってください。
1. 直流電源装置の一次、二次の配線と通信ケーブルなどは、電気設備技術基準204条にしたがって、近接しないように施工してください。
2. 無負荷状態、不点灯、および点滅などの状態での放置はしないでください。
3. 直流電源装置とLED器具との間の配線長は10m以内にしてください。
4. 直流電源装置、およびその配線と電子機器を余り近づけ過ぎないようにしてください。
●調光を行う場合は、音が発生する場合があります。学校、図書館、病院、事務室など静かさを要求される場所、体育館、講堂など多数の直流電源装置を天井に取付ける場合は、騒音に配慮して施工してください。
●調光を行う場合は、指定された調光器を使用してください。指定されたもの以外のものを使用すると、不点灯・チラツキの原因となります。
●調光を行う場合、明るさの下限レベルまで調光させていくと使用環境によって、まれにチラツキが生じることがあります。
●断熱材、防音材を使用する場合、図の様に器具・造営材から離して施工してください。放熱が悪いと、故障の原因となるだけでなく、火災の原因となることがあります。



保守・点検

●標準使用条件で8～10年経過した直流電源装置は、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用すると絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火などの原因となることがあります。直流電源装置の交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合、寿命が短くなります。
●1年に一回は、安全チェックシートにより、自主点検してください。
●3年に一回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。

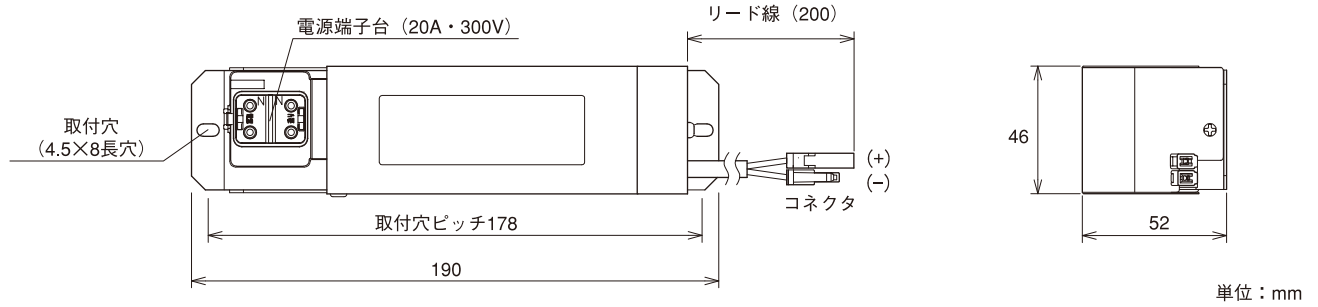
定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	本体質量 (kg)	入力電流 (A)	入力容量 (VA)	出力電圧 DC(V)	出力電流 DC(A)
ELC-3312QDP-DL	0.3	0.29	29	41	0.33

※入力電圧AC100 (V)
※周波数50/60Hz共用

各部の名称と外形寸法



取付方法

1. 取付前の確認

- ・取付け部に、直流電源装置の質量に十分耐えるような強度を確保してください。不備があると落下の原因となります。
- ・LED照明器具が適合であることを確認してください。
- ・造営材裏で口出し線処理や接続作業ができる所でご使用ください。作業スペースが無い場合は、事前に線処理をしてください。

2. 埋め込み穴を開ける

- ・この直流電源装置は、LED照明器具の埋め込み穴から通過させることができます。埋め込み部の隙間は110mm以上空けてください。

3. 電源ケーブルの接続

- ・電源ケーブルはVVFφ1.6またはφ2.0を使用し、端子台のストリップゲージに合わせ、心線を14mmストリップしてください。電源の送りにVVFφ1.6またはφ2.0を使用してください。
- ・心線が止まるまで確実に端子台へ差し込み、1本ずつ接続の確認をしてください。※電源ケーブルを外す場合は、マイナスドライバーでリセットボタンを押しながら引き抜いてください。

注] ストリップしすぎると心線が金属に接触し、感電、漏電の原因となります。
注] 容量を超えた場合、火災・感電の原因となります。

4. 装置の取り付け

- ・横転や逆転しないように、取付ねじ（別途用意）等で取付穴を利用して確実に固定してください。

注] 取り付けが不完全な場合、故障の原因となります。

5. LED照明器具（別売）への取り付け ※必ず電源を切ってください。

- ・別売の延長ケーブルDKDLを使用し、直流電源装置のコネクタを別売の適合LED照明器具のコネクタへ確実に接続してください。接続が不完全な場合、点灯不良の原因となります。

- 2台：DKDLを2本以上使用
- 3台：DKDLを3本以上使用

- ・配線長は全長10m以内で使用してください。

注] 適合LED照明器具の詳細については、各LED照明器具の取扱説明書をご参照ください。
注] 1灯のみの点灯はできません。

6. 電源の供給

- ・全ての作業が完了しましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。

注] 通電した状態でLED照明器具を脱着しないでください。故障の原因となります。

※調光する場合

- ・パナソニック株式会社エコソリューションズ社製の調光器を使用してください。調光範囲約10～100%

- ・1台の調光器に接続できる直流電源装置の台数は下記の表をご参照ください。

注] 調光レベルが下限近くの状態では、以下のような場合があります。そのときは調光レベルを上げると点灯します。
・電源を入れた場合に点灯しないことがあります。
・停電や瞬時の電圧降下などで消灯することがあります。
・複数のLED器具を1つの調光器で使用する場合、LEDの特性により、個々のLED器具の消灯のタイミングに差が出ます。

注] 1灯のみの調光はできません。

注] 相当品は使用しないでください。動作しない場合があります。(LEDライコン：NQ20615など)

品名	調光器品番	ライコン1台あたりの最大接続台数	1回路あたりの接続可能台数
ライトマネージャーS	4回路	NQ28641	48台
	6回路	NQ28661	55台
埋め込み調光スイッチ+調光インターフェース	WTC57521+NK28900	5台	5~18台

